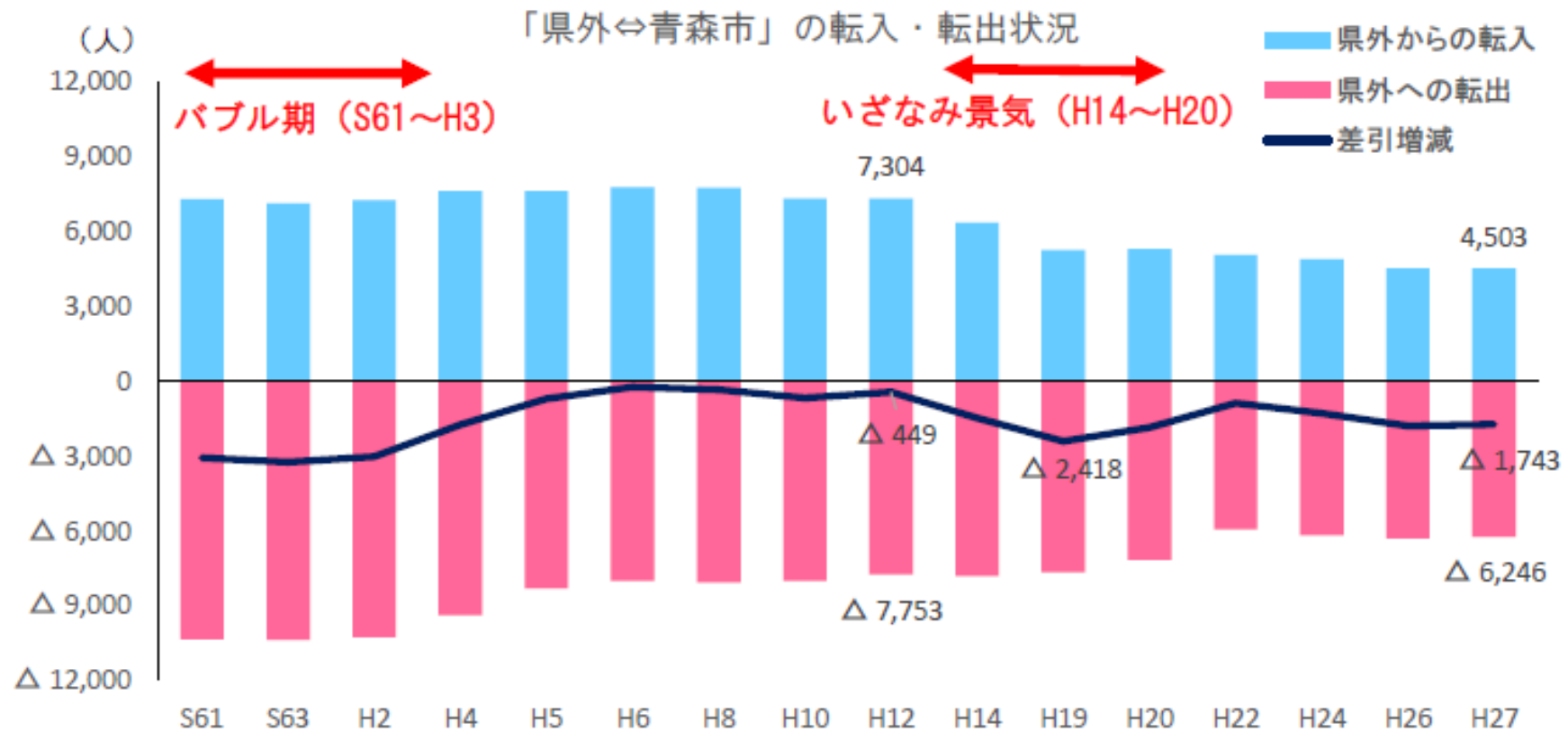




<https://www.city.aomori.aomori.jp/kikakuchousei/shiseijouhou/matidukuri/sougoukeikaku/aratanasougoukeikaku/shingikai/dainibunkakai/documents/toukeisiryou>

ポイント！！

- ①近年、県内・県外ともに、移動数（転入出者数）は減少傾向。
- ②「県内⇔青森市」の転入・転出状況は、昭和40年代から一貫して、
転入
超過で推移、近年は、300～500人程度の転入超過で推移。
- ③「県外⇔青森市」の転入・転出状況は、昭和40年代から一貫して、
転出
超過で推移、近年は、平成19年を底に、回復傾向。

アウガ（現在）



コンパクトシティ 失敗in秋田



(エリアなかいち)



背景

- 2012年9月イオングループの「イオンタウン」が秋田市郊外に大型ショッピングセンターの出店を計画。
- コンパクトシティ構想をかけた、市の中心部に15年の歳月と135億円の事業費をかけて「エリアなかいち」建設。
- 2014年中核テナントの「サンマルシェ」が撤退表明。
- 同年3月撤退。
- 売り場の空きスペースは4割にも達した。

富山市を取り巻く課題

人口減少と超高
齢化

過度な自動車依存に
よる公共交通の衰退

中心市街地の魅力喪
失

CO2排出量の増大

割高な都市管理の行
政コスト

これらに対応できる地方都市の1つの未来像を提示

富山市の未来都市像

公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり

- ・ 公共交通の活性化、中心市街地や公共交通沿線での都市機能の集積 など

質の高い魅力的な市民生活づくり

- ・ 中心市街地の活性化、歩いて暮らせるまちづくり、ソーシャルキャピタルの醸成 など

地域特性を十分に活かした産業振興

- ・ 地場産業である薬業の最大限の活用、再生可能エネルギーの活用、企業誘致 など

コンパクトな街づくりの基本方針

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

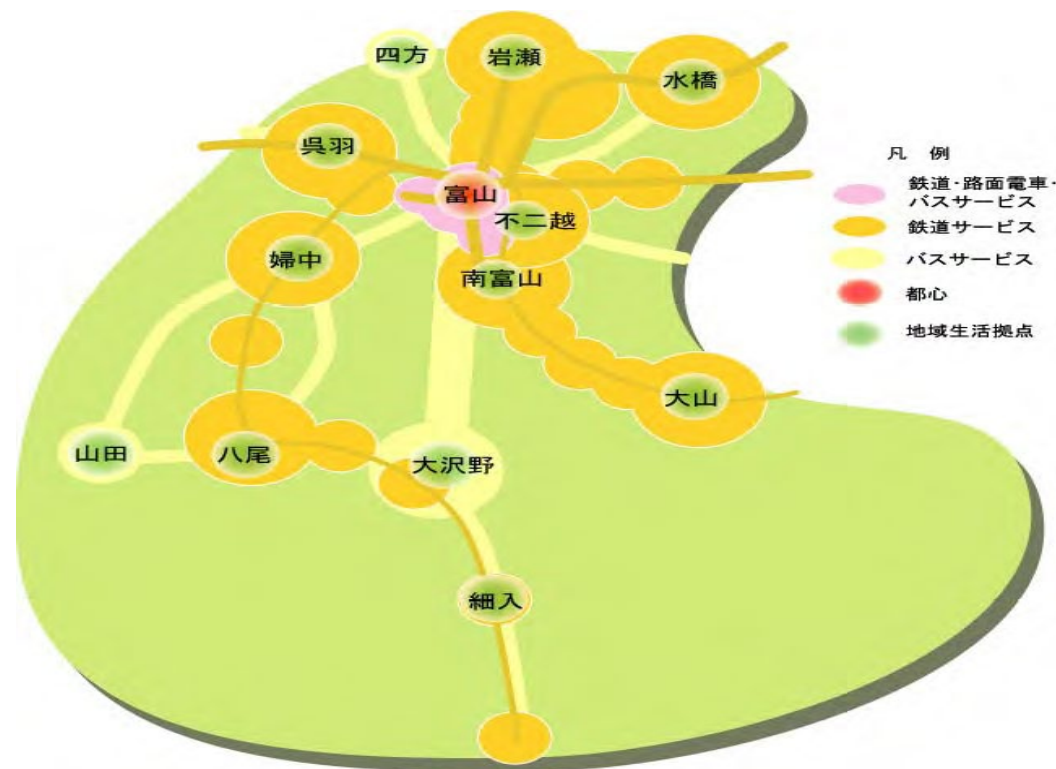
< 概念図 >

富山市が目指すお団子と串の都市構造

串：一定水準以上のサービス

レベルの公共交通

お団子：串で結ばれた徒歩圏



高齢化に対応したまちづくり



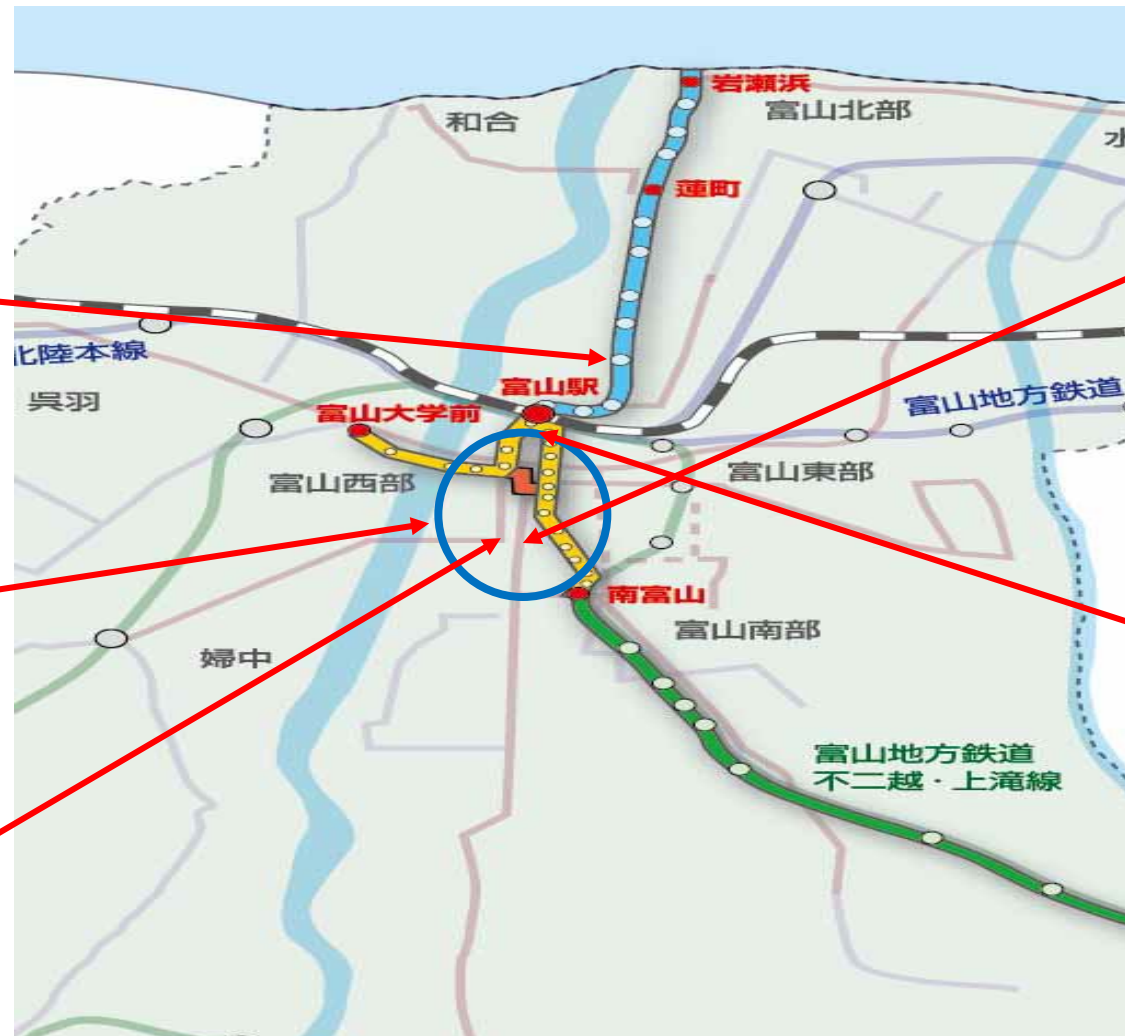
富山ライトレール



市内電車環状線化事業



アヴィレ



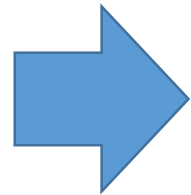
角川介護予防センター



グランドプラザ

富山ライトレールの整備

利用者の減少が続く地方ローカル鉄道を、公設民営の考え方を導入し、日本発の本格的LRTシステムに蘇らせた取り組み



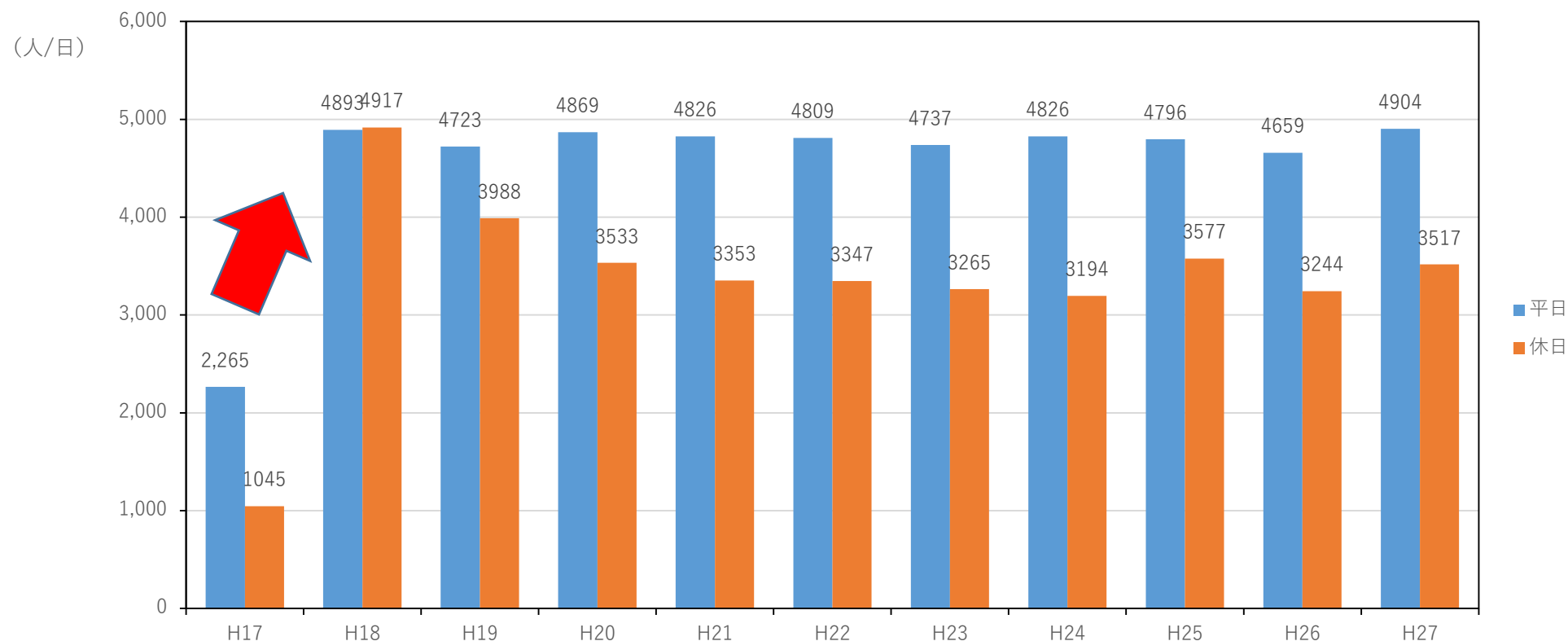
- 運行サービスの向上
- トータルデザインの導入
- 車両の低床化と電停のバイアフリー化
- アテンダントの配置



富山ライトレールの整備効果（利用者数）

開業前と比較して、利用者数が

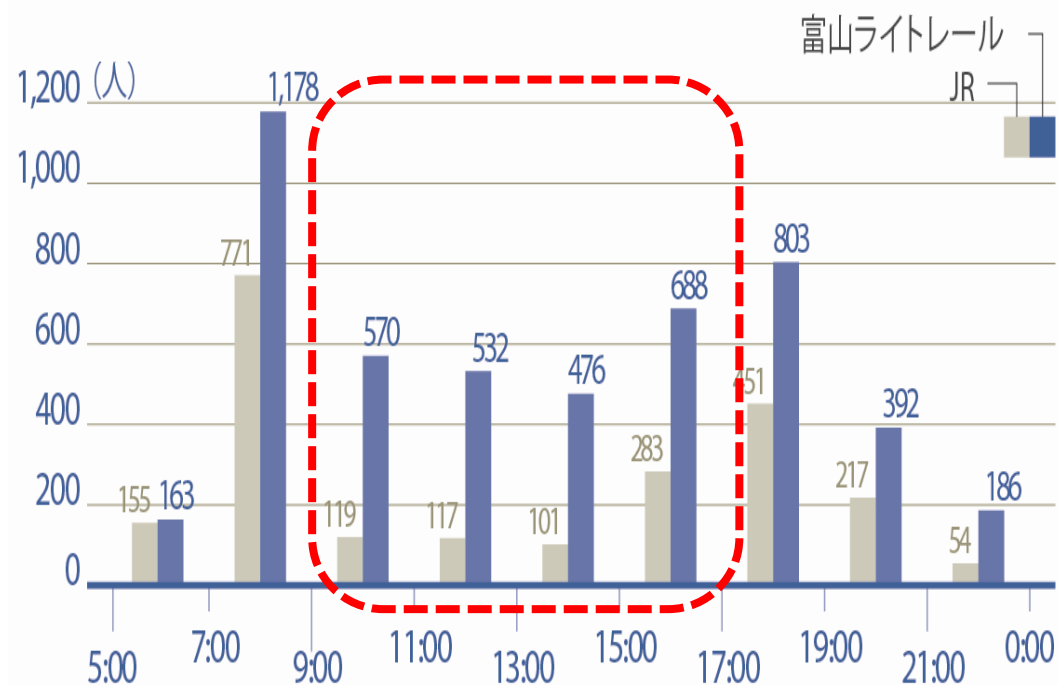
平日で**約2.1倍**、休日で**約3.6倍**へと大幅に増加



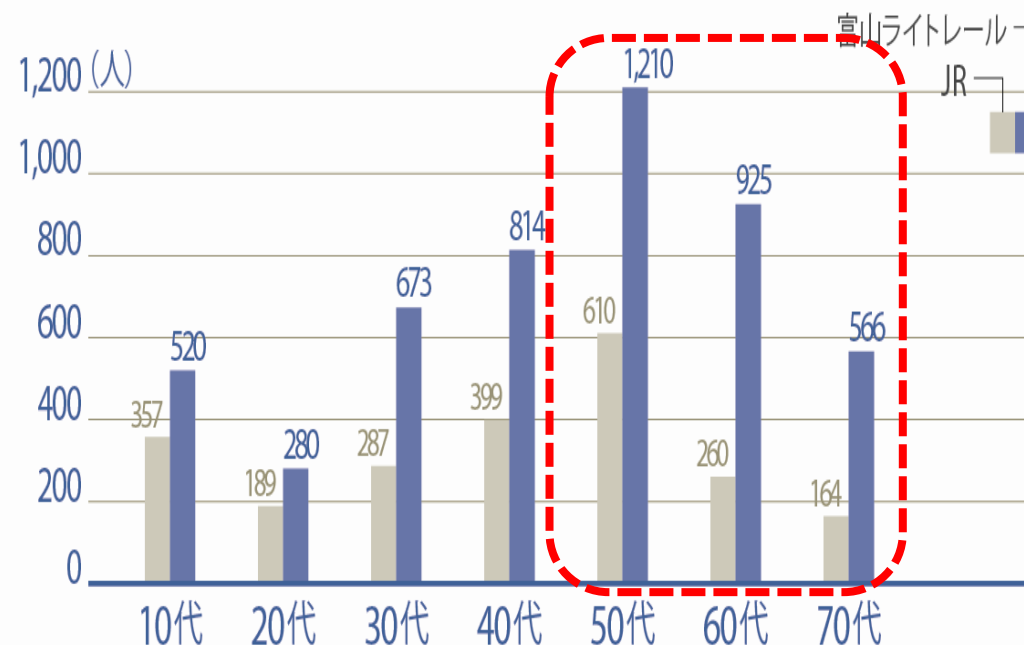
富山ライトレールの整備効果（利用者数）

日中の高齢者の利用が増加（ライフスタイルの変化）

1日あたり 時間帯別の利用者数の変化(平日)



1日あたり 年代別の利用者数の変化(平日)



富山ライトレールの整備効果（CO2）

- 利用者のうち、約12%が自動車からの転換
- 年間436トンのCO2削減



富山ライトレールの整備効果

- 住宅の新規着工件数の増加

	開業前 H16	開業後6年平均 H17－H22	H17－H22/H16比
富山ライトレール沿線	90件	116件	<u>1.29倍</u>
旧富山市地域	2238件	1798件	0.80倍

市内電車環状線化事業

- 中心市街地活性化と都心地区の回遊性の強化を目的に、市内電車を一部延伸
- 日本発の上下分離方式の導入
- 魅力ある都市景観の構築に向けた道路空間との一体的な整備



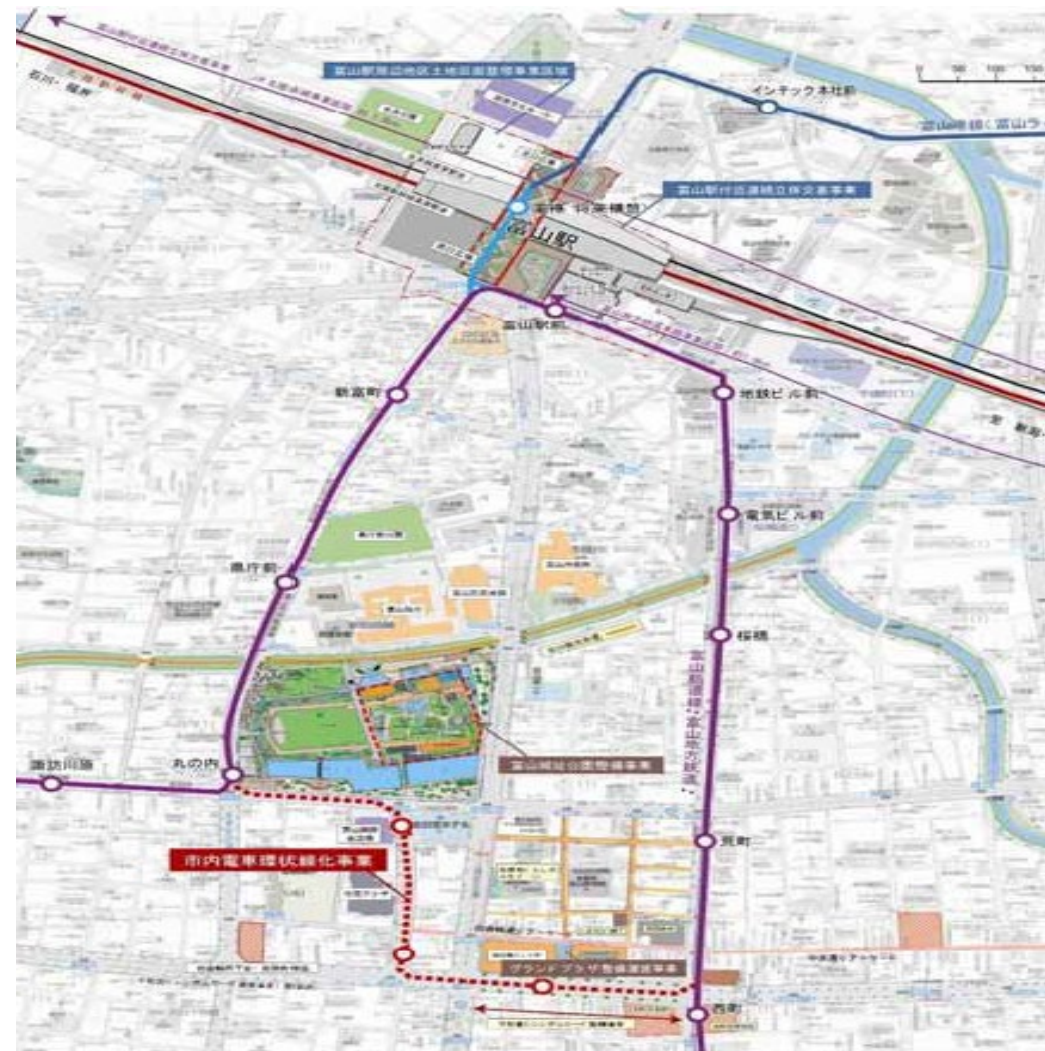
市内電車環状線化事業

- 開業日：2009年12月23日
- 延長：約0.9km

(環状区間 約3.4km)

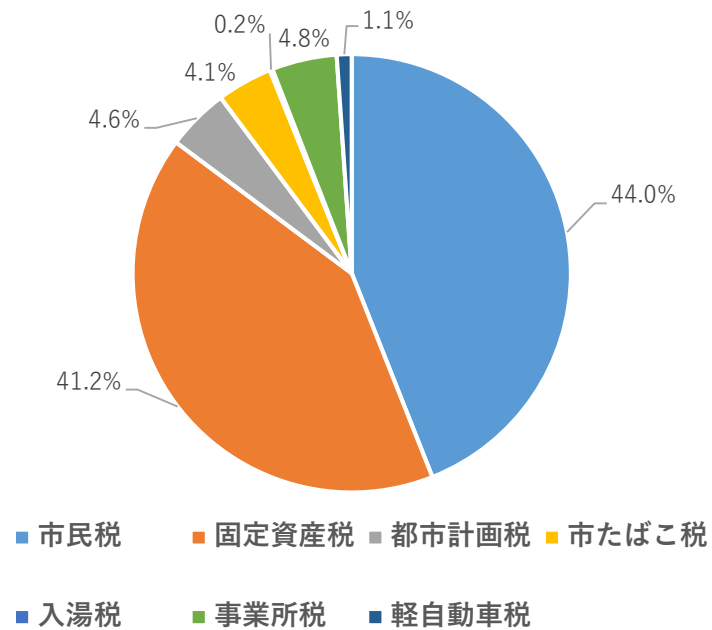
電停：延伸区間に3か所新設

車両：新型低床車両を3編成導入



財政面から見た中心市街地活性化の意義

- 富山市の市税の内訳
(平成24年度当初予算)



固定資産税・都市計画税の 地域別内訳 (H24年度)

	面積比	固定資産税 + 都市計画税
市街化区域	5.8%	74.1%
うち中心市街地	0.4%	22.3%
上記以外	94.2%	25.9%

活発な経済活動により、大きな税収を生んできた都心の活力が、大きく低下し始めている

中心市街地の活性化に**集中投資**

グランドプラザの整備

- 積雪寒冷地の気候に配慮し、賑わいの核となる全天候型の多目的広場を整備
- ガラスの大屋根、大型ビジョン、昇降式ステージなどを備える
- 年間100以上のイベント等を実施（H23年の休日稼働率は100%）
- 事業主体 富山市
- 工事期間 H18.3~19.8
- 事業費 約15.2億円
- 施設概要 約1400m²（65m×21m）
- 天井までの高さ：約19m
- 大型映像装置：約277インチ



お出かけ定期券事業

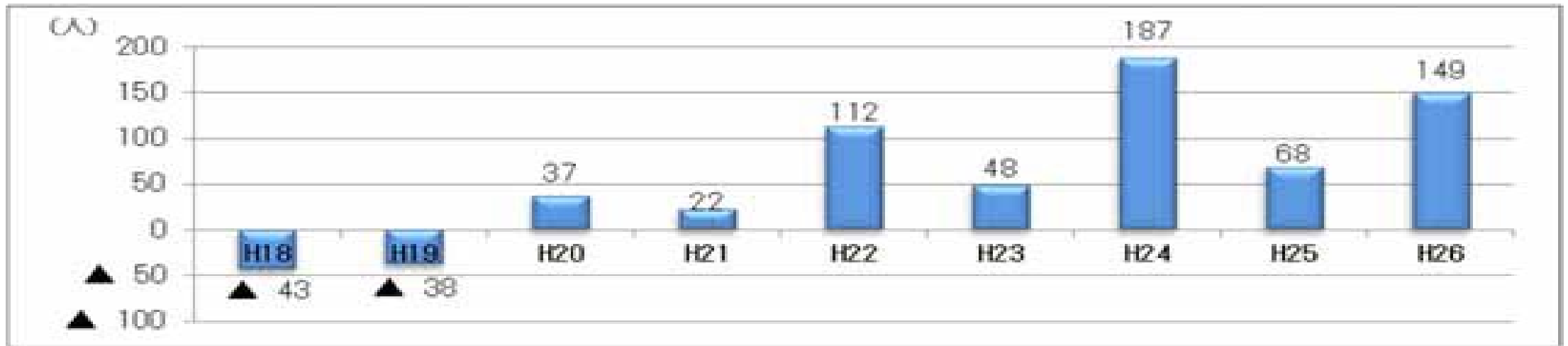
- 交通事業者と連携し、満65歳以上の高齢者を対象に中心市街地から市域全域どこへ出かけても公共交通利用料金を100円とする割引制度を実施
- 高齢者の約3割がお出かけ定期券を所有し、1日平均2370人が利用



コンパクトな街づくりの効果

- 中心市街地の社会増減（転入－転出）の推移

中心市街地の社会増減の状況を見ると、平成19年以降は転入超過に転換し、過去5年では、年平均81人の転入増となった。

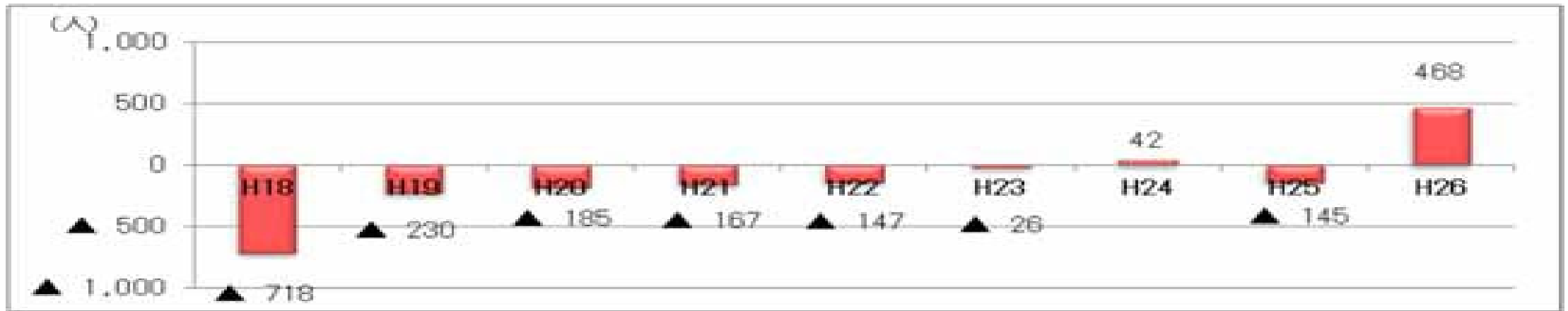


www.city.toyama.toyama.jp/data/open/cnt/TOYAMA-JP

コンパクトな街づくりの効果

- 公共交通沿線地区の社会増減（転入－転出）の推移

公共交通沿線居住推進地区の社会増減の状況を見ると、公共交通の活性化や居住推進事業により、公共交通沿線の魅力が高まり、平成24年より、転入超過に転換した。



www.city.toyama.toyama.jp/data/open/cnt/TOYAMA-JP

コンパクトなまちづくりへの国際的な評価

- OECD（経済開発協力機構）が世界各国を調査し、取りまとめた『コンパクトシティ政策報告書』の中で、富山市の取り組みが先進5都市の一つとして取り上げられる



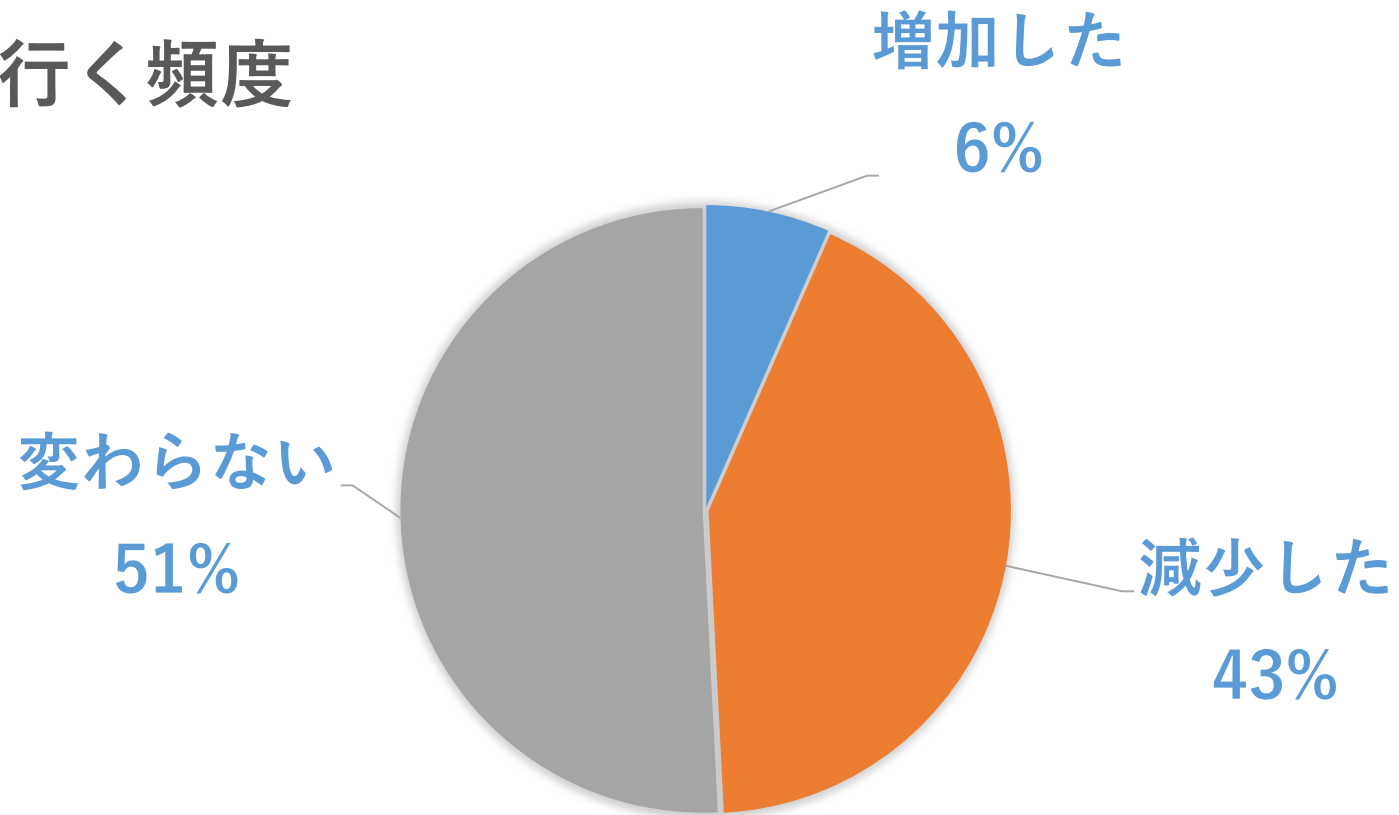
コンパクトシティ 成功in大分



(JR大分シティ)

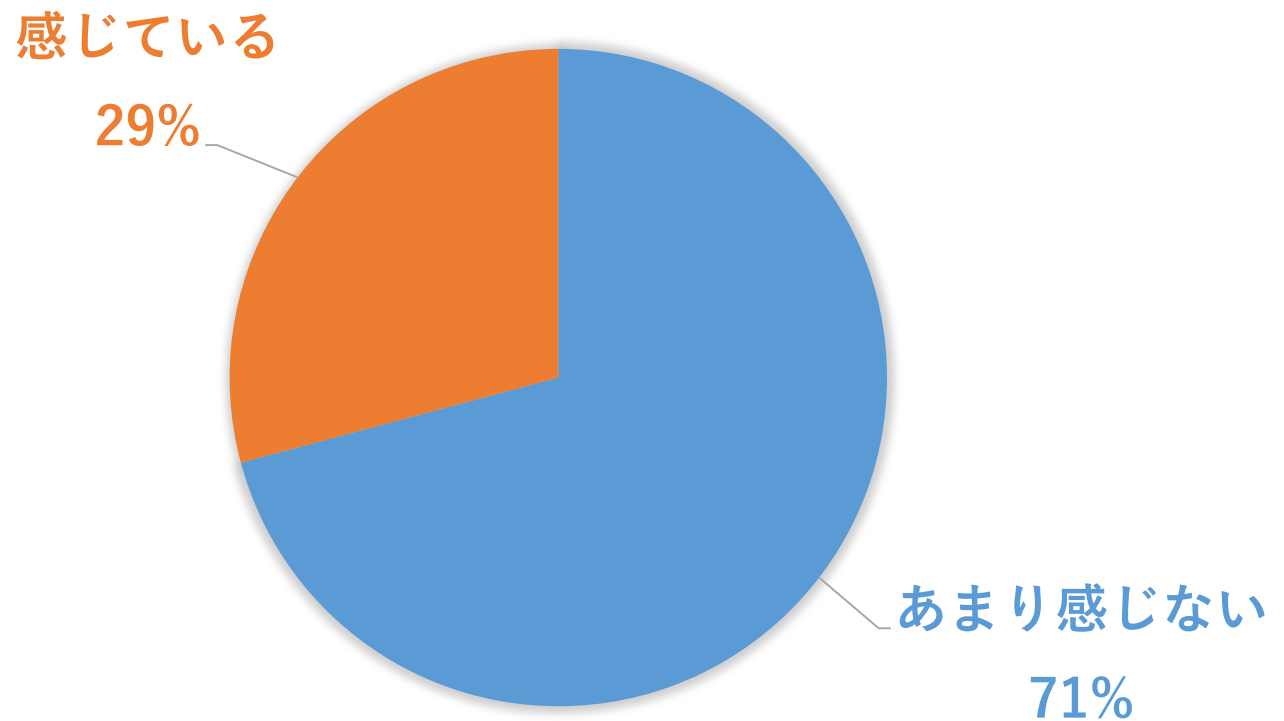
市民アンケート

中心部に行く頻度



市民アンケート

活性化の動きを感じているか



新たな基本計画の骨子

- ◆大分駅の北側に「商業」 南に「情報文化」という性格の異なる都心の形成
- ◆2つの都心をつなぐ
- ◆南北を回遊し楽しめるまちの魅力づくり



(ホルトホール大分)



(大分いこいの道)

指標	基準値	目標	第一期(最終)	第二期(2013年4月-)	
	(2004年度)	(2017年度)	(2012年度)	(2013年度)	(2014年度)
小売業年間商品販売額	872 億円	880 億円	806 億円	800 億円	-(未発表)
歩行者通行量	32万6833人	35万人	27万5154人	32万9781人	35万3056人
まちなか滞留(3時間以上)	37.4%	40%	30.4%	36.4%	40.8%
空き店舗対策新規出店	-	40 店舗	-	21 店舗	49 店舗



2009年JR大分駅北側



2015年JR大分駅北側

JRおおいたシティ

2015年4月16日 JR大分駅ビル {JRおおいたシティ} 開業

地上21階、地下1階建ての新駅ビル

1階から4階には床面積約31,000平方メートルの商業施設「アミュプラザおおいた」

地上5階から8階に立体駐車場、8階に屋上庭園を設置した大型複合商業施設。

8階から18階の高層階には190室を有するホテル、19階から21階には地下700メートルから湧き出る天然温泉を使用する温泉施設が入る。



東九州自動車道



大分県立美術館



	概要（開業年、目標）	初年度 (9ヵ月)	2014年度	2015年度
ホルトホール大分	複合文化交流施設、商業施設2店 (2013年7月)※年目標200万人	来館者 150万859人	来館者 204万6573人	来館者 205万1256人
JR おおいたシティ	商業施設、温浴施設、ホテル、シネコン、立体駐車場等(2015年4月) 初年度目標1100万人、売上200億円			入館者数 2420万人 売上高 224億円
大分県立美術館	文化施設(2015年4月)、年間目標50万人			来館者数 64万人

まとめ

- やみくもに商業施設を都市部に立て人を集めようとするのではなく、インフラなどのしっかりとした地盤を整えてからコンパクトシティを行うべきである。

そうすればコンパクトシティ成功の見込みがでてくるのではないだろうか。

参考文献

- 3 集積による効率化
<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h25/hakusho/h26/html/n1213000.html>
- 都市計画：立地適正化計画作成の取り組み状況 国土交通省
http://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/toshi_city_plan_fr_000051.html
- コンパクトシティ幻想から10年 大分市が大変身
<https://business.nikkei.com/atcl/report/15/261527/080900012/>
- コンパクトシティ構想が成功・失敗する理由と今後の課題や問題点を解説
<https://tochi-hack.com/compact-city/>
- コンパクトシティはなぜ失敗するのか 富山 青森からみる居住の自由
<https://news.yahoo.co.jp/feature/423>
- コンパクトシティ構想の問題点と事例、今後の課題
<https://baikyaku-tatsujin.com/compactcity-mondai.html>

参考文献

- [PDF]コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築
[https://www.iges.or.jp › files › research › pmo › PDF](https://www.iges.or.jp/files/research/pmo/PDF)
- [PDF]富山市のコンパクトシティ戦略
[www.city.toyama.toyama.jp › data › open › cnt › TOYAMA-JP](http://www.city.toyama.toyama.jp/data/open/cnt/TOYAMA-JP)

ご清聴ありがとうございました。